「宮崎県綾町」と「イオン環境財団」の取り組み

「環境負荷の軽減」を目指しパネルでの制作を無くしFSC®認証紙を使用したポスターにて制作を行っております。
ミックス
紙｜責任ある森林管理を支えています
FSC® C183458

綾町の歴史等をふまえ、様々な関係者と一緒に森づくりや里づくりなどの活動を進めていくことが、産業や生活基盤を持続的に守り、発展させる綾町なりのレジリエンスの強化につながると考えています。こうした取り組みの一部をご紹介します。

植樹活動

■植樹の取り組み

宮崎県綾町とイオン環境財団が2013年より開始した植樹活動。
綾中学校建設資材確保のため伐採された町有林跡地に、本来の里山を復元する植樹を実施しました。

■成長を続ける森林・新たな活動

2017年からは、人と自然の共生を目指すユネスコの基準に沿った森づくりを開始し、現在まで、累計2万本を超える植樹が行われ、「綾町イオンの森」と呼ばれるまでに、森は成長しています。2023年からは、森を育てる活動(枝打ち・下草刈り) や、綾町の伝統工芸である草木染のワークショップを行うなど里山の利活用の理解を深める活動を実施しています。

2018年

▲「綾町イオンの森」

2024年

▲「綾町イオンの森」

未来へ向けて

■自然共生サイトへの登録

綾町とイオン環境財団は「綾町イオンの森」を中心に多面的な環境活動に取り組んできた結果、2024年9月に「綾町イオンの森・割付地区の日向夏畑」が、環境省「自然共生サイト」に登録されました。

▲綾町イオンの森エリアまっぷ

■未来へ・新たな活動領域に向かって

今後持続可能な地域社会構築のため、生態系サービスを支え、人と自然が共生する新たな里山を目指し、2024年11月綾町とイオン環境財団では「里山の新たな価値創造に向けた包括連携協定」を締結しました。植樹から始まった活動は、新たな里山づくり、伝統文化の継承と新たな文化の創造を含めた環境活動へと広がっていきます。

▲2024年11月に「里山の新たな価値創造に向けた包括連携協定」を締結

<綾町の歴史>

1953年	1982年	1984年	1989年	2002年	2005年	2007年	2012年	2013年	2015年	2018年	2023年	2024年		
綾川総合開発事業着工、その後町が繁栄	「九州中央山地国定公園　綾地区」指定	「綾の照葉大吊橋」完成	「手づくりほんものセンター」オープン	世界自然遺産登録運動	「綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト）」開始	「綾町照葉の里景観条例」制定 「森林セラピー基地」認定（～2023年まで）	「綾ユネスコエコパーク」登録・「CIB花のまちづくり国際コンクール」5つ星・特別賞受賞	**「イオン環境財団」との植樹開始**	「綾町生物多様性地域戦略」策定	「綾ユネスコエコパークセンター」開所	「東洋紡　絢の森」が自然共生サイトに認定	**「綾町イオンの森・割付地区の日向夏畑」が自然共生サイトに認定**	**「イオン環境財団」と「里山の新たな価値創造に向けた包括連携協定**	綾町「ネイチャーポジティブ宣言」

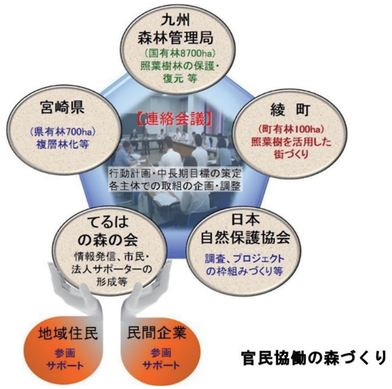
「宮崎県綾町」の未来に向けた取り組み

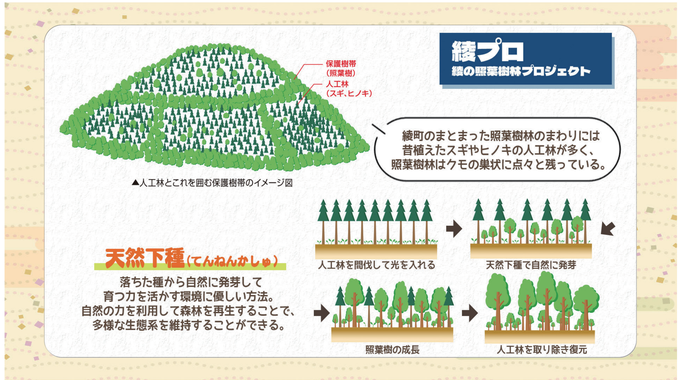
「環境負荷の軽減」を目指しパネルでの制作を無くしFSC®認証紙を使用したポスターにて制作を行っております。
ミックス
紙｜責任ある森林管理を支えています
FSC® C163458

綾の照葉樹林プロジェクト

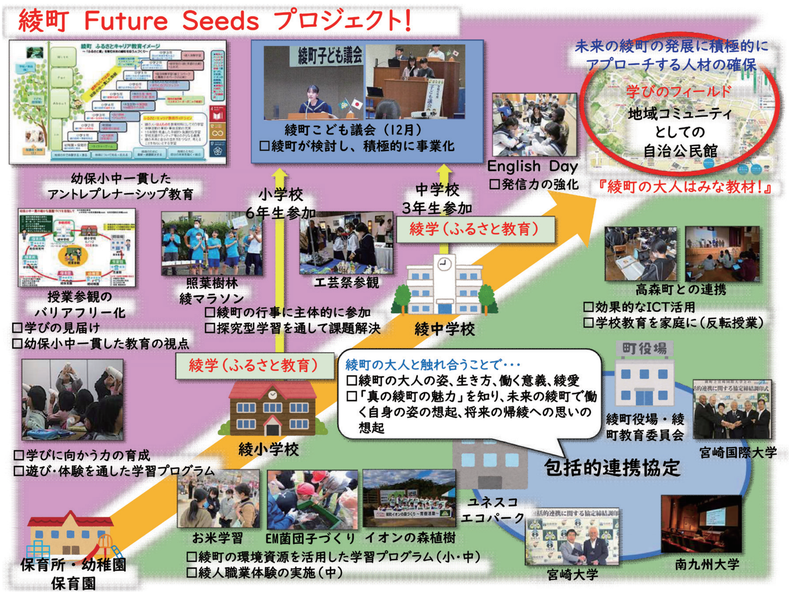
綾北川及び綾南川の流域に残された、我が国最大級の原生的な照葉樹林（常緑広葉樹林）の保護や、人工林から照葉樹林への復元を通して、よりよい形で照葉樹林を後世に継承するプロジェクトです。

2005年5月、九州森林管理局、宮崎県、綾町、日本自然保護協会、てるはの森の会の5者が「綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画」（通称「綾の照葉樹林プロジェクト」）を推進する協定を結び、2025年で20年目を迎えました。最近では、奥山を保護・復元する綾の照葉樹林プロジェクトと、里山で森づくりを進めている自然共生サイト「東洋紡 綾の森（東洋紡株式会社）」・「綾町イオンの森と割付地区の日向夏畑（イオン環境財団）」関係者とで連携し合い、共通する課題可決に向けての意見交換が行われました。奥山と里山の自然をつなぎ、そこに関わる人々を結び付け、それぞれをどのように守り育てていくべきか、新しい時代に向けた人と自然との共生のあり方を模索しています。





未来の綾町を担う人づくり

綾町内にある小・中学校は綾小学校と綾中学校のそれぞれ1校のみですが、2014年に両校ともユネスコスクールへ認定されており、郷土愛のもと、持続可能な社会の担い手を育む教育を一貫して行っています。綾ユネスコエコパークとの連携はもとより、地域の活動団体や大学などの研究機関、民間企業などとも連携した様々な分野についての学習の機会が増えています。

幼・保育園の段階で自然を生かし遊びを通した教育を、小・中学校の段階で綾町の環境資源や地域の課題解決探求型の学習を取り入れるなど、綾町の未来のためにタネをまく取組みを進めています。